

## 1. 集計結果

### ○回答数

- ・保護者による評価 25人（25人中）
- ・職員による自己評価 11人（11人中）

### ○実施期間

- ・2018年12月17日～28日

### ○評価の数値状況

- \*別紙を参照

## 2. 分析・討議

### ○保護者による評価

- ・「活動の場所の面積が適切であるか」は、「はい」が23人ある。ただし、「わからない」が2人ある。施設は、20人定員であるため、指導訓練室は80㎡あり、基準面積を満たしており、他の事業所と比べ、決して狭いわけではない。活発に動き回る子どもが多いので、（もっと広かったらいい）という希望があるのだろう。
- ・「指導員の配置人数は適切であるか」は、「はい」が24人ある。子どもの様子に合わせて対応してもらっている」という意見があるように評価されている。
- ・「子どもにとって危険がともなうようなことがなくて、子どもを安心して通わせられるか」は、「はい」が22人ある。ただし、「わからない」が3人あるのは、施設内を、安全かどうかという視点で、点検的に見たことがないからだろう。
- ・「虐待と思われるようなことがなくて、子どもを安心して通わせられるか」は、「はい」が24人ある。虐待などの心配がないと評価されている。
- ・「火災や地震、感染症などの対策がなされているか」は、「はい」が21人ある。ただし、「わからない」が4人ある。防火防災訓練や、感染症の研修会は実施していることを、会報などをつうじて知らせているものの、伝わっていない人もいるのだろう。
- ・「個人情報の取り扱いに十分注意されているか」は、「はい」が20人ある。ただし、「わからない」が5人ある。個人情報の取り扱いについて知らせているものの、そうした状況を実際に見ていないからだろう。また、子どもがたまたま出してきた学校の連絡帳を目にした指導員がいたからだろう。
- ・「子どもの育ちの状況を確認、保護者との面談もしながら、個別支援計画書が半年に1回は見直し、作成されているか」は、「はい」が24人となっている。「子どもの様子をよく見て作成されている」という意見があるように評価されている。
- ・「子どもに応じた活動が作り出されるとともに、屋内や屋外の活動、長期休業中の活動などが工夫されているか」「子どもは活動を楽しみに参加しているか」「活動に満足しているか」は、「はい」が25人（全員）または24人ある。「夏休みは、合宿やプールがあって助かる」「学校に行きたくないと言う時も、ゆうやけには行きたいと言うほど楽しみにしている」「とても楽しみにしている」「学校では体験しにくい高校生との触れ合いは、とてもいい経験になっている」「とても満足している」

という意見もあるように評価されている。

- ・「入会するとき、運営規程、活動の内容、利用者負担などについて、ていねいに説明がなされたか」「保護者の思いや願いを汲み取るため、懇切に対応されているか」「保護者と面談を行なうなどして、子どもについての状況や意見などを聞き取られているか」「保護者に子どもや活動の状況を報告する機会がつけられているか」は、「はい」が25人（全員）または24人ある。「急な時でも対応してもらえ、助かる」「保護者の気持ちを大切にしてもらえ、ありがたい」「家では見ない様子が見られたり、迎えの時に詳しく話してもらえたりして、ありがたい」「毎日の詳しい説明がありがたい」という意見もあるように評価されている。
- ・「苦情などの意見を寄せたときは、懇切に対応され、改善策をすみやかに伝えられているか」は、「はい」が21人ある。ただし、「わからない」が4人あるのは、「苦情を出したことがない」という意見があるように、苦情を寄せた経験がないので、わからないのだろう。
- ・「会報などが定期的に作られて、活動の状況を知らせたり、保護者の交流を促したりされているか」「親子行事、きょうだいの会など、保護者や家族が交流できる機会が工夫されているか」「保護者が自主的につくる父母会に協力するなどして、保護者同士のつながりをつくろうとされているか」は、「はい」が25人（全員）または24人ある。「他事業所は、保護者会があるとところが少ない」という意見があるように、保護者との関係づくりが評価されている。

#### ○職員による自己評価

- ・39の項目で、「はい」が11人（全員）または10人ある。全体として、高い自己評価となっている。
- ・「子どもの“問題行動”に出会うとき、その内側に、その子の本当の願いが隠されていると考えて、内面を探ろうとしているか」は、「はい」が9人ある。ただし、「わからない」が2人ある。この質問は、子どもの内面洞察が必要となるため、回答が難しい。「子どもの外面に見える行動の中に秘められた思いや気持ちに寄り添えるように努めている」という意見があるように、「わからない」と答えることで、そのための努力を続けることが重要と考えられる。
- ・「子どもの“問題行動”に出会うとき、わが身に引き寄せるなどして、その理由を共感的に理解しようとしているか」は、「はい」が8人ある。ただし、「わからない」が3人ある。この質問は、子ども理解を自己反省的に振り返ることが求められるため、回答が難しい。「わからない」と答えることで、自らを反省的に振り返ることが重要と考えられる。
- ・「子どもの表面的な事गरらを並べるのではなくて、働きかけて、肯定的な事実をつくりだし、それを意味づけようとしているか」は、「はい」が8人ある。ただし、「わからない」が3人ある。この質問も、子どもの内面洞察が必要なため、回答が難しい。「わからない」と答えることで、そのための努力を続けることが重要と考えられる。
- ・「子ども理解や実践についての、外部の学習会や講座に参加して、見識を高めようとしているか」は、「はい」が8人ある。ただし、「わからない」が2人、「いいえ」が1人ある。外部の研修会への参加は、非常勤職員の場合は、本人の事情（家庭などの都合）でなかなかできない人もいることの表われだろう。

- ・「保護者の言葉の内側に込められた思いや願いを汲み取ろうとして、懇切に対応しているか」は、「はい」が7人ある。ただし、「わからない」が4人あるのは、経験の浅い人が自己反省的に振り返っているからだろう。

### 3. 改善目標

#### ○保護者による評価

- ・ほとんどが、高い評価となっている。いっそう努力を重ねたい。
- ・活動場所の面積は、基準を満たしており、他の事業所と比べて決して狭いわけではない。こうしたことを、機会をとらえて伝えていきたい
- ・危険回避、防火防災対策、感染症対策、個人情報の取り扱いなどは、さらに留意したい。実施している状況を、機会をとらえて伝えていきたい。

#### ○職員による自己評価

- ・ほとんどが、高い評価となっている。内部の研修会などをつうじ、子ども理解などを学び合っていることの反映だと考えられる。
- ・内部の研修会の内容をさらに充実していきたい。主体的な学びとするため、講師の話をお聴きだけでなく、集団討議の機会をつくることを重視したい。
- ・外部の研修会に非常勤職員が参加することは、本人の事情があり、簡単なことではないものの、機会をとらえて、参加をいっそう呼びかけたい。

### 4. 公表方法

○保護者・職員への文書の配布（2019年1月末より）

○ホームページへの掲載（2019年1月末より）